

反人種差別データ法- ウェブサイト内容

最新情報

2022年9月23日州政府は反人種差別対策データ収集担当委員会の11名の委員を発表しました。この委員会は公共部門に見られる体系的な人種差別の撤廃に州政府と協力して取り組みます。各委員の取り組み姿勢については各々の略歴をご覧ください。

より良いことを行う機会

州政府は、BC州を、全ての人にとって、より公平で包括的な、かつ心地よい州にするため懸命に取り組んでいます。この取り組みを支援する方法の1つに、州政府によるプログラムおよびサービスにおける体系的な人種差別およびその他の不平等を特定して対処するために役立つ新しい法律があります。

体系的な人種差別は、先住民、黒人、およびその他の人種差別化されたコミュニティが特定の政府によるプログラムおよびサービスへのアクセスがよくない場合、あるいはブリティッシュコロンビア州民がそれらにアクセスするよりも悪い結果をもたらす場合に起こります。

差別は意図的なものではないかもしれませんが、これは体系的な問題であり、この状況を修正するために、理解し、認識する必要があります。そのため、州政府と反人種差別イニシアティブ議会のラクナ・シン長官は、BC州の人権長官、ファースト・ネーションおよびメティスの指導者、人種差別化されたコミュニティ、そしてその他のブリティッシュコロンビア州民と協力し、人種、民族性、信仰、性、性別、能力、収入、およびその他の社会的アイデンティティの指標に関する人口統計情報を安全に収集および分析するシステムを導入しています。

このデータを適切な方法で収集し、使用することで、体系的な不平等さがどこにあるかが認識でき、差別、不平等、サービスの格差の問題に対処することができます。

人々のプライバシーを保護し、情報を安全に保つことは、最優先事項です

この極めて重要な統計情報を収集することで、政府のサービスが、公平に提供され、BC州のすべての人々のニーズを満たすことを確実にすることができます。それはまた、コミュニティが、本当の意味で違いをもたらす変化を主張するために不可欠な情報を持っていることを意味

法律について学ぶ

5月2日、州は、より多くの人に対する政府によるプログラムおよびサービスを向上し、体系的人種差別に対処し始めるための反人種差別データ法を導入しました。

[詳細](#)

法律が必要な理由

政府は人種に基づくデータを収集することができます。ただし、これは一貫した方法で行われるわけではなく、収集方法、共有方法、およびアクセス方法に違いがあります。

[詳細](#)

コミュニティと話す

2021年9月から2022年3月まで、政府はコミュニティ組織と協力して、安全な方法で、人種差別を対象とする作業に違いをもたらす人種に基づくデータを収集および使用する方法について、先住民および人種差別化されたコミュニティに意見を求めました。

[詳細を見る](#)

彼らが聞いたことレポートについて調べる

5 つのトピックに分かれたこの画期的な取り組みの結果のレポートをご覧ください。

データを安全に保つ

州には、人々の個人情報を保護する方法に関する強力な法律とセキュリティプロトコルがあります。政府はこれらの保護を強化し、先住民や人種差別化されたコミュニティと協力して、人々の情報がこれらの保護とセキュリティ要件を満たしていることを確認し、このデータ収集と使用が人種差別の影響を受けるコミュニティにさらに害を及ぼさないことを確かめます。

[詳細](#)

[レポートを表示する](#)

次に起こることは何か？

2022 年 6 月 2 日、反人種差別データ法が成立しました。この法律は、ファースト・ネーション・リーダーシップ議会およびメティス・ネーション BC と共同で作成されています。人権委員会事務局と多文化諮問委員会もまた、意見を提供する上で主導的な役割を果たしてきました。新しい法律により、州政府が、一貫かつ安全な方法で、体系的人種差別を特定し、取り除くために人口統計データを回収、使用および公開することができるようになります。これは、体系的人種差別がどこで起こっているかを特定し、より包括的で公平な州を作るために役立ちます。

州政府は引き続き、先住民や人種化されたコミュニティと協力し、どのようにそしてどのような統計情報を収集し、どのように共有および保護するかについて検討します。

[詳細を見る](#)

サポートにアクセスするにはどうすればいいか？

レジリエンス BC は、ヘイトクライムや事件に対応し、報告する方法に関するリソースを提供しています。

[レジリエンス BC のウェブサイトを見る](#)

法律に関して

5月2日、政府は、下記を目的とする新たな法律、人種に基づくデータ法を導入しました：

- 人々がプログラムにアクセスするための障壁をなくす；
- 人種化された人々が不釣り合いに標的にされないようにする；
- プログラムとサービスを改善して、より多くの人々が必要な支援を受けることに対し安心を感じることができる。

[本法律](#)は2022年6月2日に成立しました。

この法律は、先住民や人種化されたコミュニティ、およびBC人権委員会、ファーストネーション先導者会議、BCアボリジナル友好センター協会、およびメティスネーションBCなどの主要な利害関係者との関わりを通じて、13,000人を超えるブリティッシュコロンビア州民の考えから情報を得ています。これは、先住民法における宣言法に基づく先住民と共同開発された最初の法律の1つです。

この法律は、主に以下の4点に焦点を当てています；

1. BC州のファーストネーションおよびメティスのコミュニティの独自のアイデンティティを認識する方法で、先住民と引き続き協力する。
2. 法律を導入するにあたり、人種化されたコミュニティと協力する。これには、データの収集および使用方法について政府と協力するための州の反人種差別データ委員会の設立が含まれる。
3. 先住民や人種化されたコミュニティへの危害を防止および軽減しながら、透明性と説明責任を強化する。
4. 政府に対し、年に1度、データを公開し、定期的な法律の見直しを要求する。

この法律を実施する際、州は先住民や人種化されたコミュニティと引き続き協力します。

法律が必要な理由

我々は、政府の政策やプログラムを含め、あらゆる場所に体系的な人種差別が存在すると理解しており、これは変わる必要があります。人種、民族性、信仰およびその他の要因に関連するデータは、どこでそして、どのように先住民や人種差別化されたコミュニティが政府サービスで体系的な人種差別を経験しているかを明らかにするのに役立ちます。しかし、現在、政府がこの情報を収集すべきか、またそれをどのように使用するかについては一貫性がありません。

法律は、この種の情報が一貫した文化的に安全な方法で収集、使用、開示されることを保証します。この情報により、政府のシステム、プログラム、およびサービスのどこに人種差別があるかを特定することができます。これは、より多くの人々に、より良いサービスを提供し、より包括的で公平な州を作るのに役立ちます。

先住民および人種化されたコミュニティは、長い間、人種に基づくデータの収集、使用、およびアクセスを改善するよう政府に求めてきました。これらのコミュニティは、体系的な人種差別を特定して対処できるように、教育、医療、住宅、警察などの公共サービスに関するコミュニティメンバーの経験を理解するためのより良いデータを望んでいると供述しています。彼らはまた、情報が収集、保存され、文化的に安全でかつ支援しようとしているコミュニティに害を及ぼさない方法で使用されることを確実にするために法律が必要であると供述しました。

人権長官はまた、彼女の報告書 *ブリティッシュコロンビア州の細分化された人口統計データ収集*：祖母の視点で、この問題を強調し、コミュニティと協力して、既存の体系的な問題を悪化させないように、コミュニティが個人情報の収集と使用に関与していることを確実にすることの重要性を強調しました。

そのため、我々はコミュニティ組織と協力し、先住民や人種差別化されたリーダーやコミュニティメンバーと直接話し合い、これからもあらゆる段階で話し合いを続けていきます。我々は、体系的な人種差別に対処するのに役立つ法律を導入する方法を確実に理解したいと思っています。また、先住民族の自治権を確実に支持したいと考えています。

この法律は、行動と変化を推進するため、BC 州政府と先住民および人種化されたコミュニティ

体系的な人種差別とは何か？

体系的な人種差別は、サービス、システム、構造に組み込まれている不平等によって発生し、これは、人種に基づき人々に不利益をもたらす隠れた偏見によって引き起こされることがよくあります。多くの先住民や人種化されたコミュニティにとって、これは不平等なアクセス、貧弱な結果、そして教育、医療、児童福祉、警察などの公共サービスでの否定的な経験をもたらします。

によりよい情報を提供する重要なツールとなります。

データを安全に保つ

データの収集と使用は、体系的な不平等を可視化し、障壁を減らし、差別、不平等、サービスの格差の問題に対処するのに役立ちます。

人々の情報を保護および保護する安全かつ安心できる一貫した方法で情報が収集、保存、使用されるようにすることは、最重要優先事項の 1 つです。

この法律の下で、政府はいかなるデータも安全に収集および保存されることを確実にします。情報の自由およびプライバシー保護法に基づくすべてのプライバシーおよびセキュリティ保護が、この法律に基づいて収集または使用される情報に適用されます。

データを使用し、体系的な人種差別の特定を始めるために、政府は、ブリティッシュコロンビア州データイノベーションプログラムを使い、データを保護するために、ファイブ・セーフズ・モデルと呼ばれる国際的に認識されているプライバシーおよびセキュリティモデルを使用します。

ファイブ・セーフ・モデルは、以下によってデータが不適切にアクセスまたは使用されるリスクを軽減します。

- データから個人を特定できる情報を削除する。
- 安全な技術を使用し、データを安全に統合する。

- 明確な公共の恩恵があり、個人やコミュニティに害を及ぼさないプロジェクトのみを承認する。
- 許可された個人にのみアクセスを提供する。
- 研究結果における更なるプライバシー保護を確保する。

データイノベーションプログラムに関する詳細は、下記をご確認ください:

[データイノベーションプログラムよくある質問](#)

BC 統計およびデータ・イノベーション・プログラムに関する詳細は、下記をご確認ください:

[BC 統計](#)

[データ・イノベーション・プログラムに関するよくある質問](#)

コミュニティと話す

この取り組みのプロセスは、コミュニティのために、コミュニティと共に考案されました。先住民の指導および人種化されたコミュニティの専門家による最初のフィードバック、および BC 人権長官の報告書、ブリティッシュコロンビア州の細分化された人口統計データ収集：祖母の視点は、コミュニティのニーズに有意義に対応できるようにするために、法律の策定にコミュニティを関与させる必要性を強調しました。

この取り組みのプロセスは、先住民の指導と人種化されたコミュニティ組織をプロセスの最前線に置き、コミュニティメンバーは、データの収集、使用、開示に関連する懸念、ニーズ、優先順位をこれらの機関に直接伝えることができるものです。

我々は以下に関してより理解したいと思いました：

- アイデンティティに関する見解：BC 州の人々が自分自身をどのように認識、または表現することを好むのか。
- 実体験：政府機関と個人情報を共有した過去の経験。これは、研究目的や、政府がより良い収集方法を構築するために、健康、教育、または司法などの公共サービスへのアクセスなど、さまざまな状況で情報を共有することで人々の快適さのレベルを理解する手助けとなります。
- データ使用の見解：人々は、政府が先立つ人種的平等に向けて取り組むために、データがどのように使用されることを望んでいるか。

2021 年 4 月から 2022 年 3 月の間に、人々とコミュニティは 3 つの取り組みに関する流れを通して、話し合いへの参加に招待されました。

1. 先住民の取り組み
2. コミュニティ主導の取り組み
3. オンライン一般調査

この情報提供は、コミュニティにとって何が重要であるかを特定し、体系的な人種差別に取り組むために、最も安全で効果的な方法でこの統計情報が収集され、使用されることを確認するのに役立ちました。

調査には 2,900 人以上が回答し、先住民、黒人、有色人種 (IBPOC) を代表するコミュニティ組織が開催するコミュニティによる取り組みに関するセッションに約 10,000 人が参加しました。

1. 先住民の取り組み

*先住民族の権利に関する宣言*が 2019 年 11 月に可決後 BC 州政府により導入される重要な新しい法律として、先住民族との有意義な取り組みは、今までもこれからも重要であります。この目的のために、先住民による取り組みにおける専門家、BC アボリジナル友好センター (BCAAFC)、およびメティス・ネーション・ブリティッシュ・コロンビア (MNBC) はそれぞれ、先住民コミュニティのメンバーおよび個々の先住民とのセッションを直接主導するための資金を受け取りました。

さらに、州政府はファースト・ネーション・リーダーシップ議会 (FNLC)、BCAAFC、MNBC などと直接協力して、この法律が先住民族のデータ自治権を確実に支持するようにしました。この取り組みの一環として、FNLC は、法律が起草された際、政府と協力するために先住民族のデータ管理の専門家を決めました。

法律に関する情報は、BC ファースト・ネーション本会議、ファースト・ネーション・サミット、および BC インディアン・チーフ連合の総会のさまざまな段階でファースト・ネーションの局長に提示されています。2022 年の初めに、ファースト・ネーションは、法律についてより耳を傾け、フィードバックを共有するためにテクニカルな説明会への出席を招待されました。

2. コミュニティ主導の取り組み

人種化されたコミュニティによるフィードバックに基づき、州政府は、コミュニティメンバーとの独自の取り組みにおけるセッションを主催を希望する対象となるコミュニティ組織およびグループに助成金を提供しました。

州全体で約 70 の組織が、2021 年 11 月から 2022 年 1 月末まで取り組みにおけるセッションを主催し、直接およびオンラインの両方で 425 もの会議を開催し、約 10,000 人が集まりました。

データの収集、使用、開示に関する個人的な経験や懸念について、人種化されたコミュニティメンバーから直接聞くことは、コミュニティのニーズを理解し、データ法に反映させるために重要でした。

3. オンライン一般取り組み調査

州全体の IBPOC コミュニティの幅広い人々からの意見を聞くために、州政府は、オンライン調査も開始しました。調査は 2021 年 9 月から 2022 年 1 月 31 日まで実施され、複数の言語で利用可能でした。約 3,000 人が調査に回答しました。この調査は、政府のサービスを利用し、アイデンティティと民族性に関する情報を提供した個人の実際の経験を理解するためのものでした。

調査に関する報告

5 つのトピックに分かれたこの画期的な取り組みに関する結果のレポートをご覧ください。

BC アボリジナル友好センター協会の取り組みに関するレポート

長老者評議会、ピアレビュー委員会、および州アボリジナル若者評議会のメンバーを含む合計 36 人の参加者が 2 つのセッションに参加しました。

コミュニティ主導の取り組みに関するレポート

約 70 の先住民および人種化されたコミュニティの組織が、BC 州政府から助成金を授与され、州全体のコミュニティメンバーとの反人種主義データへの取り組みセッションを主催しました。

ファーストネーションズの取り組みに関するレポート

政府は 2021 年 12 月から 2022 年 3 月まで BC ファーストネーションに参加しました。この取り組みの目的は、BC ファーストネーションの参加者が知識を共有し、反人種差別データ法に意見を提供する機会を提供することでした。

メティスネーション BC の取り組みに関するレポート

メティスネーションブリティッシュコロンビア(MNBC)は、BC 州政府と協力し、先住民特有の人種差別に対応するための呼びかけに応え、今後の反人種差別データ法に関するコミュニティ協議を実施しました。

オンラインによる取り組みに関するレポート

2021 年 9 月 9 日から 2022 年 1 月 31 日まで、ブリティッシュコロンビア州政府は、反人種差別データ法を支援するためにオンライン調査を実施しました。この調査では、政府のサービスを利用する際に、アイデンティティと民族性のデータを提供した経験についての回答を集めました。

[レポートの全内容は、英語にて閲覧可能です。](#)

委員の略歴 – 反人種差別対策データ収集担当委員会

2022年9月23日州政府は反人種差別対策データ収集担当委員会の委員長を始め11人の委員を発表しました。

同委員会のメンバーはBC州の人種差別を受けてきた多様な社会と地理的地域を代表しており、州政府と協力し、公共部門に存在する体系的人種差別の特定と撤廃に向け、データの安全な収集と使用方法に関する手引きを作成します。

また、データの指針と基準の作成ができるように支援を行うと同時に、州政府と協力して優先調査項目を設定し、コミュニティに対してさらなる害悪を未然に防ぐために発表前に年次統計内容の検討を行います。

「この画期的な反人種差別対策データ収集法はBC州をすべての人々が、人種に関係なく活躍できる州にすることを模索しています」と述べる反人種差別対策データ収集担当委員会の委員長フランシス博士は、また「反人種差別対策データ収集担当委員会はこの志を実現するのに不可欠です。委員会は先住民や人種差別を受けてきたコミュニティの声が確実に代弁されるように人選されており、公共部門で提供されるサービスに存在する体系的人種差別とギャップに対処するための公約が実現されるように精いっぱい努力いたします。委員会は主要な優先調査項目を設定するために政府と協力していくときに、コミュニティ固有の視点に配慮しつつ諸コミュニティと継続的に協力し、文化的な背景を踏まえた安全性を維持することが必要となります。活動の中核となるのは公共サービスにおいて現存する人種間の公平性のギャップを埋めるためにデータを収集し監視することです」と語っています。

同委員会の取り組み内容に関しては <https://news.gov.bc.ca/27486> へアクセスしてください。

同委員会委員

ジューン・フランシス (委員長)、Co-Laboratorio (CoLab Advantage Ltd.) 共同創業者、サイモンフレーザー大学学長特別アドバイザー (反人種差別政策担当)

人種差別を受けているグループのための公平性、ダイバーシティ、インクルージョンを長年提唱。ホーガンズ・アレー・ソサエティーの委員長を務め、同ソサエティーの使命であるアフリカ系子孫

の社会的、政治的、経済的、文化的な福祉を住居の供給を始めスペースの創出とプログラムの実施を通じて推進している。SFUの『ディアスポラ研究とエンゲージメント研究所』ディレクター。この研究所の使命は多文化およびディアスポラ・コミュニティに関する学術的研究と、そこから導かれた政策およびその実践との関係を強化し、革新的かつ持続可能でインクルーシブなイニシアティブの構築を担う各々の役割を強化すること。CoLab 創立の起業家として、職場文化、サプライチェーン、政策、プログラム、パートナーシップ、サービス計画において先住民、黒人を始め他の人種差別を受けてきたグループの参加への構造的な障壁の審査と対処に様々な分野のクライアントと共に取り組んでいる。

シャーリー・チャウ、UBCオカナガン、ソーシャルワーク学部准教授

反人種差別対策・インクルーシブ・エクセレンスに関するUBC学長下のタスクフォースの共同議長、およびカナダ・ソーシャルワーク教育協会の人種、民族、文化問題対策委員会の共同議長。ケローナ市における人種差別とヘイト対策委員会委員を務め、人種差別や先住民、ジェンダー、年齢、人種による使用言語、民族性、宗教、障害などに基づいたインターセクショナルリティ差別関連問題の監視と問題解決に主に取り組んでいる。

ドナルド・コリガル、メティ・ネーションBC、カルチュラル・ウェルネス・マネージャー

メティ・ネーションBCで、『プレイン・サイト』報告書、『先住民女性および少女失踪・殺害に関する調査 (MMIWG) 』報告書、『真実と和解に関する行動の呼びかけ』報告書の実施など様々な課題についてヘルスケア業界との連絡業務を担当。環境公衆衛生の分野では1976年から活動を続

けており、COVID-19感染対策クリニックで見られたアクセスに関する問題点や人種差別を始め様々な差別に関する出来事の問題にCOVID-19パンデミック中にBCインテリア地域で諸委員会と協力して取り組んできた。

マリオン・エリクソン、ヘルス・アーツ研究センター研究部門長

Nak'azdli ネーション出身の Dakeh 族の女性で、Lhts'umusyoo (ビーバー) 一族のメンバー。現在トンプソンリバー大学の教育修士課程在学。ノーザン B C 大学にて行政・コミュニティ開発の学士号を取得。B C 医療専門規制団体の先住民学生諮問グループに所属。Nak'azdli バンドの信頼関係構築委員会委員。プリンスジョージ市学生ニーズ対応委員会の委員を務めた経験を持つ。

ダルジット・ギル=バデシャ、B C 工科大学講師、S F U 客員講師

非営利団体や公的機関でシニアリーダーとして 25 年余りの経験を土台に、児童、青少年、高齢者、移住者と難民の定住、アクセシビリティとインクルージョンを扱う職務の経営管理、研究、知識の動員、政策の策定等の分野で豊かな専門知識を持つ。長期のコミュニティ計画のための大型イニシアティブや戦略の開発では受賞歴があり、地元自治体政府内でデータ収集や報告を利用しやすくするための政策の変更の実施、そして人種差別やヘイト関連のデータに関する説明責任を果たすための手段の追加に尽力した。

ジェシカ・ガス、B C 州患者の安全と質に関する審議会、先住民の健康における戦略的イニシアチブ・リーダー

先住民族の健康とウェルネスに携わった 7 年を含め経営管理分野で 20 年以上の経歴を持つ。ハイダ、Xaxli'p、Xwisten、スコームッシュのネーションとヨーロッパ系などが入り混じった祖先をもつ。政策を始め基準やプロセスの開発・分析等の能力は長年の経験に裏打ちされており、反人種差別戦略や目標と合致した分野の推進を図っている。

エレン・キム、コンサルタント、公平とインクルージョンを専門

韓国出身。政府や民間機関を始め反人種差別に注力する非営利団体に勤めた経験を持つ。反アジア人差別とそのインパクトに関してコミュニティから吸い上げるデータの収集、分析、追跡、共有を行うアジア人女性の草の根共同体の共同責任者として活動。これ以前の 10 年は不正義を被ってきた

たグローバルコミュニティにおいてコミュニティ開発に携わると同時に第一線でソーシャルサービスを実施した。

ザリーン・ナクビ、サイモンフレーザー大学、全学研究・企画支援部ディレクター

ボストン大学で経済学博士号を取得後、ワールドバンクで研究者として、また国際開発の専門家として勤務。現在はSFUで公平性、ダイバーシティ、インクルージョンに関するデータ作業部会を指揮し、データ管理運営審議会や他の関連プロジェクトの共同議長を務めている。社会的弱者の多くが公務や高等教育に参加できるようにデータのアクセスの改善に熱心に取り組んでいる。

スミス・オドゥロ=マーフォ、BC州の黒人に関するレポートの筆頭著者・研究者

ビクトリア大学で政治学博士号を取得。2016年以降プライバシー、データ保護、監視、身元確認などのシステムの課題に学問的関心を持つ。BC州政府から助成を受け、2022年2月に発表された『BC州の黒人に関する報告書』の筆頭著者・研究者。BC州暴力をなくす会の反人種差別ヘイト対応プログラムの諮問委員会委員を務めると同時に、グレータービクトリア警察ダイバーシティ諮問委員会の委員を務めている。

ジャクリーン・クインレス、クインテセンシャル・リサーチ・グループCEO

社会学者、BIPOC研究者。アイルランド・イギリス系と先住民族の血を引くバイレイシャル。ジェンダーベースの分析フレームワークを駆使して20年余り先住民コミュニティの中で幅広く活動。2013年カナダ社会学協会とアンガス・リード財団法人より、カナダにおける先住民族の福祉の向上に寄与したコミュニティに密着した研究の成果が認められた。データ指標および測定ツールの概要をまとめるなど、研究者としてファーストネーションの諸コミュニティのために尽力してきた。

スーキー・サンドゥー、ウエイクアップ・サレー共同創業者、タフツ大学多様性、公平、インクルージョン修士課程在学

地域社会活動家、並びに 2018 年に設立された草の根コミュニティ団体のウエイクアップ・サレーの創立者の一人。当団体は南アジア系青少年を巻き込むギャング暴力や狙撃事件の増加に対応するために設立された。あらゆるレベルの政府機関、警察、コミュニティのステークホルダー、教育者、メンタルヘルス専門家、被害者の家族などとの 150 以上のミーティングに参加することにより同団体のアウトリーチ努力を先頭に立って担ってきた。また国際的なスポーツマネジメントの分野でも長年の経験も持つ。

次のステップ

体系的な人種差別は政府のプログラムやサービス全体に蔓延しており、私たちはこれに対処するために今すぐ行動を起こすことを約束します。今後数か月に渡り、以下の次のステップを行います。

2022 年 5 月 2 日、先住民や人種差別化されたコミュニティと共同開発された反人種差別データ法を導入しました。本法律は 2022 年 6 月 2 日に成立しました。

- この法律は、2 つの包括的な目標に対応します。
 - 先住民族や人種化されたコミュニティとの信頼を築く方法でデータ収集を導入する
 - 体系的な人種差別に対処するために、個人情報の収集、使用、開示に対する信頼できる方法を確立する。

次に、この法律は、人口統計データの一貫した安全な収集、使用、開示を可能にし、どこで、体系的な人種差別が発生しているかを特定し、より包括的で公平な州を築きます。我々は、引き続きこの新しい法律のための堅牢で文化的に安全な実行計画を作成するために、コミュニティと関わり、協力していきます。

- この法律は、人種差別に取り組むためにデータを収集、および使用するための数多くあるステップの第一歩です。法案が承認されたら、あらゆる段階で関与する先住民族や人種化されたコミュニティと一緒に計画を作成します。
- この計画は、既存の政策とプログラムを拡張し、有益で適切な方法でデータを収集および使用するためのガイダンス、トレーニング、ツール、およびアクティビティを開発します。

- BC 州政府はまた、先住民族と協力して、先住民族の権利に関する宣言に従い、先住民族のデータ管理体制とそのデータの優先順位をサポートする予定です。

我々は、データの使用方法、データの安全性を維持する方法、人々のプライバシーを保護する方法、およびどのような状況で誰がデータにアクセスできるかについて明確にする必要があります。これらはすべて、先住民、黒人、有色人種(IBPOC)の方と協力して決定されます。

人々とコミュニティの継続的な情報共有と関与、および BC 州人権委員会と情報プライバシー委員会の事務局は、潜在的な意図しない個人とコミュニティの危害を特定して防止するのに役立ちます。

本法律に明文化されている極めて重要な誓約は、州の反人種差別対策データ収集担当委員会を新たに設立することです。本委員会は、すべての BC 州民に対するプログラムやサービスの改善に向けて公共部門に存在する体系的な人種差別の特定と撤廃を目指し、優先調査項目の作成およびデータの収集と使用の方法の決定を州政府と協力して行うためにコミュニティの人々を結集します。委員会の委員は 2022 年 9 月に発表されました。

我々は、あらゆる段階で先住民族や人種化されたコミュニティと関わり、引き続きコミュニケーションを取りながら、この法律とともに前進します。我々は、この取組がさらなる偏見や差

反人種差別データ法を導入する

2022 年春

先住民および人種化されたコミュニティとの共同開発

実行計画を作成する

コミュニティと連携、協力し、実行計画を作成します

データ管理体制とデータの優先順位をサポートする

先住民族と提携し、先住民族のデータ管理体制とそのデータの優先順位をサポートする

協力し、コミュニケーションを取る

さらなる偏見や差別を避けるために、あらゆる段階で先住民や人種化されたコミュニティと関わり、引き続き、コミュニケーションを取ります

別を避けるために細心の注意を払って行われることを確認すると同時に、データの力を最大限に生かし、切望されている体系的な変化を起こしたいと考えています。